



2016 コーセー・チームチャレンジカップ

大会開催概要

2016.3.9 現在

●公式サイト●

<http://www.teamchallengecup.com> (English)

<http://jp.teamchallengecup.com> (Japanese)

●主催者ごあいさつ



アメリカスケート連盟
プレジデント

Samuel E. Auxier

フィギュアスケートを愛する皆様へ

アメリカスケート連盟は、ヴァン・ワグナー・スポーツ&エンターテイメント社とのパートナーシップにより、来る4月22日～24日、米国ワシントン州スポケーンのスポケーンアリーナにて2016 コーセー・チームチャレンジカップを開催いたします。

チームチャレンジカップは、世界のトップフィギュアスケーター42名が大陸別チーム（北アメリカ、ヨーロッパ、アジア）を編成し3日間に渡り競い合う、国際スケート連盟公認の大会となります。

今年初めて開催する本大会は、国際スケート連盟（ISU）および加盟各国のご支援により実現可能となりました。大陸別のチーム編成は、フィギュアスケートファンの皆様に新しい形で参加していただくにあたりベストな形であると確信しています。世界で活躍する強豪スケーターに参加いただけるこのチームチャレンジカップが大成功を収めることを期待しています。

また、各パートナー企業の皆様、特に株式会社コーセー様には心より感謝申し上げます。

スポケーンを訪れる選手、ファン、メディアの皆様、そして世界中で応援して下さいの皆様、どうぞこの素晴らしい大会をお楽しみください。

●大会冠スポンサーごあいさつ



株式会社コーセー
代表取締役社長

小林 一俊

コーセーの創業は1946年。人々に夢と希望を与える化粧品に限りない情熱を込めて日本で事業をスタートいたしました。「英知」と「感性」の融合による独自の美しい価値と文化の創造を理念として掲げ、美を提供する企業として、「スポーツをするときでも美しくありたい」と願う女性達を応援するとともに、芸術性の高いスポーツを中心に、その振興への取り組みを行っています。

フィギュアスケートについては、2006年から今に至るまで、日本スケート連盟とオフィシャルパートナー契約を結ぶなど、さまざまな形でサポートしています。「現役スター選手とレジェンド選手の競演を通じて新たなフィギュアの魅力を提供していく」という大会コンセプトに共感し、本大会への協賛を決めました。

私達コーセーは、グローバルな化粧品メーカーを目指して一昨年アメリカに進出しました。そして、今年創業70周年を迎え、更なるチャレンジを続けていきます。ここアメリカで行われる大会を通じ、現役スター選手とレジェンドの競演による「美しく」「華やかな」パフォーマンスを応援します。

- 大会名称 2016 コーセー・チームチャレンジカップ
- 開催期間 2016年4月22日（金）～24日（日）
- 開催場所 アメリカ ワシントン州スポケーン スポケーンアリーナ
- 出場チーム 北アメリカ、ヨーロッパ、アジアの3チーム
（各チームキャプテン1名、選手14名／全45名）
- チーム構成 各チーム15名
 - チームキャプテン（1名）
※フィギュアスケート界のレジェンドが各チームのキャプテンを務める（チームキャプテンは競技には参加せず、出場選手選考とチームの戦略を決定）
 - 男子シングル（3名）／女子シングル（3名）／ペア（2組4名）／アイスダンス（2組4名）
- 選手選考
 - ISU世界ランキング（ISU World Standings）による選考
（男女シングル2名ずつ、ペア2組、アイスダンス2組）
 - ファン投票による選考（男女シングル各1名）
※詳細はP.13「選手選考方法について」、P.16「ファン投票について」参照
- 競技スケジュール（予定） ※時間は現地時間

1日目：4月22日（金）	19:30 男女シングル ショートプログラム
2日目：4月23日（土）	13:30 ペア／アイスダンスフリー
	19:00 男女シングル フリー
3日目：4月24日（日）	15:00 エキシビション
- 主催 アメリカスケート連盟（USFSA）
- 協力 ヴァン・ワグナー スポーツ&エンターテイメント社
- 公認 国際スケート連盟（ISU）
- テレビ放送
 - 地上波： 日本テレビ系全国ネット
4月23日（土）15:00～16:55 男女シングル ショートプログラム
4月24日（日）15:00～16:55 男女シングル フリー
 - CS放送： 日テレジータス
4月25日（月）6:45～9:45 エキシビション <生中継>
4月29日（金）18:30～21:30 男女シングル ショートプログラム <完全版>
4月30日（土）17:30～20:00 ペア・アイスダンス フリー <完全版>
4月30日（土）20:00～23:30 男女シングル フリー <完全版>
※時間は日本時間
※放送時間・内容は変更になる場合がございます。
- チケット 大会公式サイトから以下のチケットサイトにアクセス
<http://www.ticketswest.com/events/2016-team-challenge-cup/72163/>
- 公式サイト
 - English <http://www.teamchallengecup.com>
 - Japanese <http://jp.teamchallengecup.com>

●第1日目 4月22日（金）

男女シングル ショートプログラムのチーム合計点で、第1日目チーム優勝を競い合う

◎19:30～ 男子／女子シングル ショートプログラム

- 各チーム男女3選手ずつが出場
- 各チーム男子3選手は、3つのグループに各チーム1名ずつが分かれて滑走
- 女子も同様に、計6グループのチーム対抗戦を行う
- 各滑走グループの出場選手は、各チームのキャプテンが事前に主催者に提出し、21日にグループの対戦組合わせを発表
- 滑走6グループそれぞれで、演技点の高い選手順に1位12点、2位10点、3位8点が各チームに付与される（点数は仮）
- チーム（6選手）合計点の最も高いチームが、ショートプログラムの優勝チームとなる
※チーム間の合計点と同じ場合、各チーム内の男女それぞれ最高演技点の合計点が高いチームが上位となる
- ショートプログラムの結果は、翌日の競技には持ち越さない

●第2日目 4月23日（土）

ペア、アイスダンス、男女シングルのそれぞれフリーの演技点のチーム合計で、第2日目チーム総合優勝を競い合う

◎13:30～ ペア／アイスダンス フリー

- ペアおよびアイスダンスは、各チームから2組ずつが出場
- 各チームのペア2組とアイスダンス2組がフリースケーティング／フリーダンスの演技を行い、ペアとアイスダンスのそれぞれチーム内で高かった組の演技点をチームの点数とする
※次点の組の演技点は、チーム得点の対象としない
- この得点は、同日に行われる男女シングル フリーに加算され、チーム合計点となる

◎19:00～ 男子／女子シングル フリー

- 各チームから男女3選手ずつが出場
- 男女シングル フリースケーティングとともに、上位2選手の演技点の合計点を、チーム点数とする
※チームで最も低い選手の演技点は対象としない
- 同日開催の各チームのペアとアイスダンスのそれぞれ高かった組の演技点と、男女シングル フリーそれぞれ上位2選手の演技点を合算し、最も高かったチームがチーム総合優勝となる

●第3日目 4月24日（日）

◎15:00～ エキシビション

- 出場選手の中から、主催者によって選出された選手が演技を披露

※競技方法は予告なく変更する場合があります

※競技時間は現地時間（予定）

チームキャプテン



クリスティ・ヤマグチ (アメリカ)
Kristi Yamaguchi (USA)

1992年アルベールビルオリンピックで金メダルを獲得。

作家、慈善活動家、そして妻・母であるヤマグチは、現在サンフランシスコ・ベイエリアで子供のための慈善活動を支援するオールウェイズ・ドリーム・ファンデーションを主宰。これまでに数冊の著書があるほか、「ダンシング・ウィズ・ザ・スターズ」のシーズン6ではチャンピオンになりました。

1992年の冬季オリンピックで、夫となる元NHLのアイスホッケー選手、ブレット・ヘディカンと出会いました。夫妻の間には二人の娘がいます。

女子シングル (3名)



ISU世界ランキング 4位
2016.1.1現在

グレイシー・ゴールド (アメリカ)
Gracie Gold (USA)

- トレーニング
アメリカ カリフォルニア州 エル・セグンド
- コーチ
フランク・キャロル
- 主な実績
ソチオリンピック 4位、団体 銅メダル (2014)
世界選手権 4位 (2015)



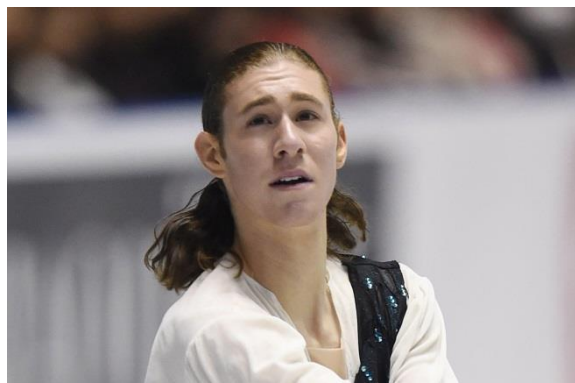
ISU世界ランキング 17位
2016.1.1現在

ガブリエル・デールマン (カナダ)
Gabrielle Daleman (CAN)

- トレーニング
カナダ オンタリオ州 トロント
- コーチ
リー・バーケル、ブライアン・オーサー
- 主な実績
ソチオリンピック 17位 (2014)

※上記2名はISU世界ランキングによる選考、他1名はファン投票による選考となります。

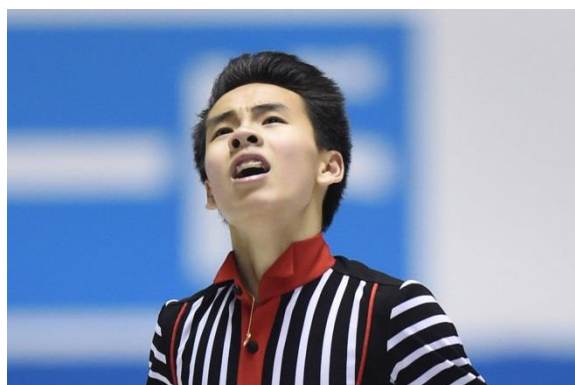
男子シングル (3名)



ISU世界ランキング 6位
2016.1.1現在

ジェーソン・ブラウン (アメリカ)
Jason Brown (USA)

- トレーニング
アメリカ コロラド州 モニュメント
- コーチ
コリ・エイド、ロヒーン・ワード
- 主な実績
ソチオリンピック 9位、団体 銅メダル (2014)
世界選手権 4位 (2015)



ISU世界ランキング 11位
2016.1.1現在

ナム・ニュエン (カナダ)
Nam Nguyen (CAN)

- トレーニング
カナダ オンタリオ州 トロント
- コーチ
ブライアン・オーサー
- 主な実績
世界選手権 5位 (2015)
世界ジュニア選手権 優勝 (2014)

※上記2名はISU世界ランキングによる選考、他1名はファン投票による選考となります。

ペア (2組4名)

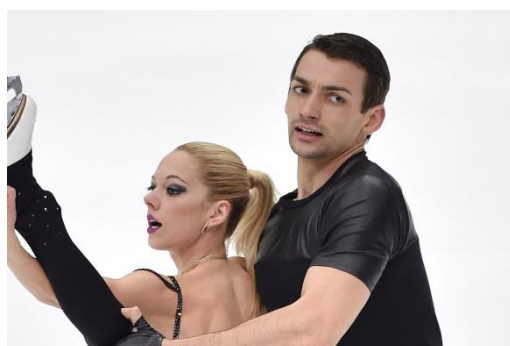


メーガン・デュハメル/エリック・ラドフォード (カナダ)

Meagan Duhamel/Eric Radford (CAN)

ISU世界ランキング 1位 (2016.1.1現在)

- トレーニング カナダ ケベック州 モントリオール
- コーチ リチャード・ゴーチエ、ブルーノ・マルコット
- 主な実績
ソチオリンピック 7位、団体 銀メダル (2014)
世界選手権 優勝 (2015)
四大洲選手権 優勝 (2013,2015)



アレクサ・シメカ/クリス・ケネリム (アメリカ)

Alexa Scimeca/Chris Knierim (USA)

ISU世界ランキング 3位 (2016.1.1現在)

- トレーニング アメリカ コロラド州
コロラドスプリングス
- コーチ ダリラ・サッパンフィールド
- 主な実績
四大洲選手権 準優勝 (2016)

アイスダンス (2組4名)



ケイトリン・ウィーバー/アンドルー・ポジェ (カナダ)

Kaitlyn Weaver/Andrew Poje (CAN)

ISU世界ランキング 1位 (2016.1.1現在)

- トレーニング アメリカ ミシガン州
ブルームフィールドヒルズ
- コーチ パスカーレ・カメレンゴ、
アンジェリカ・クリロワ
- 主な実績
ソチオリンピック 7位 (2014)
世界選手権 準優勝 (2014)
四大洲選手権 優勝 (2015)



マディソン・チョック/エヴァン・ベーツ (アメリカ)

Madison Chock/Evan Bates (USA)

ISU世界ランキング 2位 (2016.1.1現在)

- トレーニング アメリカ ミシガン州 ノバイ
- コーチ イーゴリ・シュピリバンド
- 主な実績
ソチオリンピック 8位 (2014)
世界選手権 準優勝 (2015)
四大洲選手権 準優勝 (2015,2016)

チームキャプテン



クリストファー・ディーン (イギリス)
Christopher Dean (GBR)

アイスダンスでジェーン・トービルとパートナーを組み、1984年にサラエボオリンピックで金メダル、1994年にリレハンメルオリンピックで銅メダルを獲得。

ディーンは現在もコーチ、振付師としてフィギュアスケート界に積極的にかかわり、毎年冬には、イギリスで「ダンシング・オン・アイス」というショーのツアーを行っている。

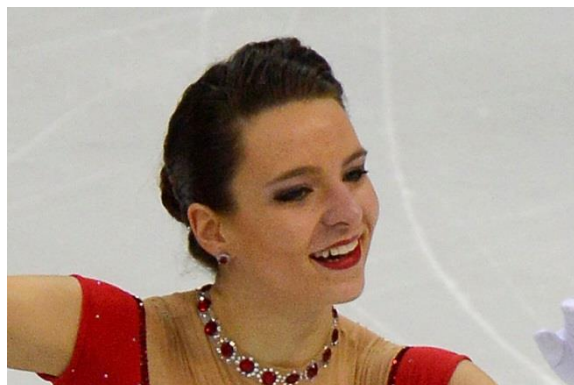
女子シングル (3名)



エリザベータ・トゥクタミシェワ (ロシア)
Elizaveta Tuktamysheva (RUS)

- トレーニング
ロシア サンクトペテルブルク
- コーチ
アレクセイ・ミーシン
- 主な実績
世界選手権 優勝 (2015)
ヨーロッパ選手権 優勝 (2015)

ISU世界ランキング 2位
2016.1.1現在



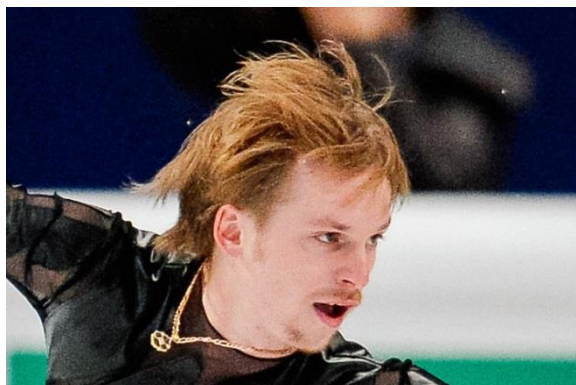
ロベルタ・ロデギエーロ (イタリア)
Roberta Rodeghiero (ITA)

- トレーニング
イタリア セスト・サン・ジョヴァンニ
- コーチ
フランカ・ビアンコニ、ロザンナ・ムランテ、バルテル・リッツォ
- 主な実績
イタリア選手権 準優勝 (2015, 2016)

ISU世界ランキング 18位
2016.1.1現在

※上記2名はISU世界ランキングによる選考、他1名はファン投票による選考となります。

男子シングル (3名)



ISU世界ランキング 4位
2016.1.1現在

セルゲイ・ボロノフ (ロシア)
Sergei Voronov (RUS)

- トレーニング
ロシア モスクワ、ノヴォゴルスク
- コーチ
エトリ・トゥトベリゼ、セルゲイ・デュダコフ
- 主な実績
ヨーロッパ選手権 準優勝 (2014)、3位 (2015)



ISU世界ランキング 9位
2016.1.1現在

ミハル・ブレジナ (チェコ)
Michal Brezina (CZE)

- トレーニング
ドイツ オーベルストドルフ、チェコ ブルノ
- コーチ
カレル・ファイフル
- 主な実績
ソチオリンピック 10位 (2014)
ヨーロッパ選手権 3位 (2013)

※上記2名はISU世界ランキングによる選考、他1名はファン投票による選考となります。

ペア (2組4名)



クセニヤ・ストルボワ/ヒョードル・クリモフ (ロシア)

Ksenia Stolbova/Fedor Klimov (RUS)

ISU世界ランキング 2位 (2016.1.1現在)

- トレーニング ロシア モスクワ
- コーチ ニーナ・モーゼル、
ウラジスラフ・ゾフニルスキー
- 主な実績
ソチオリンピック 銀メダル、団体 金メダル (2014)
世界選手権 準優勝 (2014)
グランプリファイナル 優勝 (2015)



ニコル・デラモニカ/マッテオ・グアリゼ (イタリア)

Nicole Della Monica/Matteo Guarise (ITA)

ISU世界ランキング 8位 (2016.1.1現在)

- トレーニング イタリア バゼルガ・ディ・ピネ 他
- コーチ クリスティーナ・マウリ、
クリスティーナ・ペッリ
- 主な実績
ソチオリンピック 16位、団体 4位 (2014)

アイスダンス (2組4名)

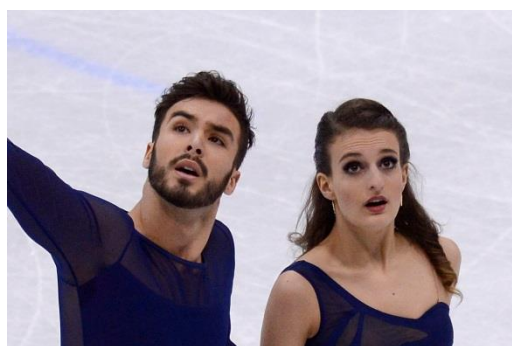


アンナ・カッペリーニ/ルカ・ラノッテ (イタリア)

Anna Cappellini/Luca Lanotte (ITA)

ISU世界ランキング 4位 (2016.1.1現在)

- トレーニング イタリア ミラノ、
アメリカ ミシガン州 カントン
- コーチ パオラ・メツツアドリ、
ロベルト・ベリツォラ、マリナ・ズエワ
- 主な実績
ソチオリンピック 6位、団体 4位 (2014)
世界選手権 優勝 (2014)



ガブリエラ・パパダキス/ギヨーム・シゼロン (フランス)

Gabriella Papadakis/Guillaume Cizeron (FRA)

ISU世界ランキング 5位 (2016.1.1現在)

- トレーニング カナダ ケベック州 モントリオール
- コーチ マリー=フランス・デュブレユ、
パトリス・ローゾン、ロマン・アグノエル
- 主な実績
世界選手権 優勝 (2015)
ヨーロッパ選手権 優勝 (2015,2016)

チームキャプテン



荒川 静香 (日本)
Shizuka Arakawa (JPN)

2006年トリノオリンピック女子シングルゴールドメダリスト。

女子フィギュアアジア人選手初の金メダル獲得となった。

現在はプロフィギュアスケーターとして国内外で活躍し、現役引退後から自身で企画・プロデュースしている「フレンズ・オン・アイス」も今年で10周年を迎える。

2012年には日本スケート連盟の理事に史上最年少で就任。2014年には副会長に就任した。

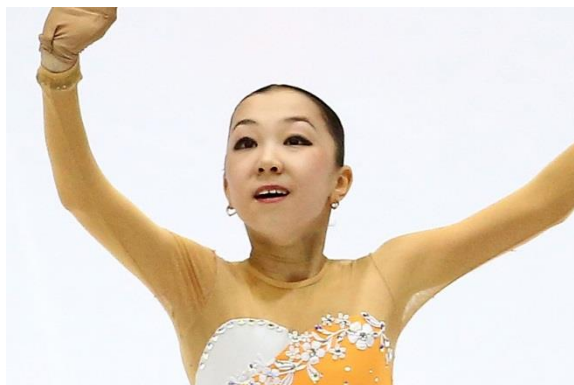
女子シングル (3名)



ISU世界ランキング 1位
2016.1.1現在

宮原 知子 (日本)
Satoko Miyahara (JPN)

- トレーニング
日本 高槻市
- コーチ
濱田美栄、田村岳斗、新野陽子
- 主な実績
世界選手権 準優勝 (2015)
四大洲選手権 優勝 (2016)
準優勝 (2014,2015)
全日本選手権 優勝 (2014,2015)



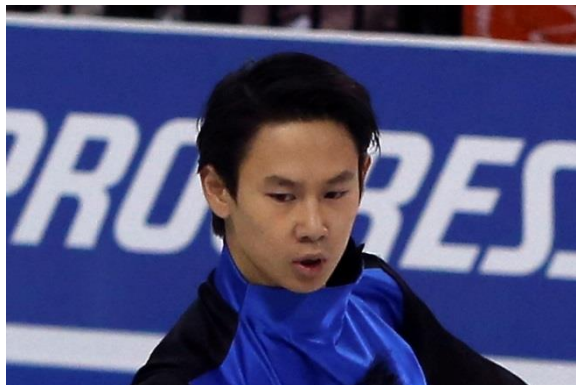
ISU世界ランキング 24位
2016.1.1現在

エリザヴェート・トゥルシンバエワ
(カザフスタン)
Elizabet Tursynbaeva (KAZ)

- トレーニング
カナダ オンタリオ州 トロント
- コーチ
ブライアン・オーサー、
トレイシー・ウィルソン
- 主な実績
カザフスタン選手権 優勝 (2014,2015)
世界ジュニア選手権 4位 (2015)

※上記2名はISU世界ランキングによる選考、他1名はファン投票による選考となります。

男子シングル (3名)



ISU世界ランキング 3位
2016.1.1現在

デニス・テン (カザフスタン)
Denis Ten (KAZ)

- トレーニング
アメリカ カリフォルニア州 エル・セグンド
- コーチ
フランク・キャロル
- 主な実績
ソチオリンピック 3位
世界選手権 準優勝 (2013)、3位 (2015)
四大陸選手権 優勝 (2015)



ISU世界ランキング 7位
2016.1.1現在

宇野 昌磨 (日本)
Shoma Uno (JPN)

- トレーニング
日本 名古屋市
- コーチ
山田満知子、樋口美穂子
- 主な実績
四大陸選手権 4位 (2016)
グランプリファイナル 3位 (2015)
全日本選手権 準優勝 (2014, 2015)
世界ジュニア選手権 優勝 (2015)

※上記2名はISU世界ランキングによる選考、他1名はファン投票による選考となります。

ペア (2組4名)



ウェンジン・スイ/ツォン・ハン (中国)

Wenjing Sui/Cong Han (CHN)

ISU世界ランキング 4位 (2016.1.1現在)

- トレーニング 中国 北京
- コーチ ホンボー・ツアオ、Bing Han
- 主な実績
 - 世界選手権 準優勝 (2015)
 - 四大洲選手権 優勝 (2012、2014、2016)



須藤 澄玲/フランシス・ブードロオデ (日本)

Sumire Suto/Francis Boudreau Audet (JPN)

ISU世界ランキング 67位 (2016.1.1現在)

- トレーニング カナダ ケベック州 モントリオール
- コーチ リチャード・ゴーチエ、ブルーノ・マルコット
- 主な実績
 - 四大洲選手権 9位 (2016)
 - 全日本選手権 優勝 (2015)

アイスダンス (2組4名)



レベッカ・キム/キリル・ミノフ (韓国)

Rebeka Kim/Kirill Minov (KOR)

ISU世界ランキング 19位 (2016.1.1現在)

- トレーニング ロシア モスクワ
- コーチ イリーナ・ジュク、アレクサンドル・スヴィニン
- 主な実績
 - 世界選手権 26位 (2015)
 - 四大洲選手権 9位 (2015)
 - 韓国選手権 優勝 (2015、2016)



シーユエ・ワン/シンユウ・リウ (中国)

Shiyue Wang/Xinyu Liu (CHN)

ISU世界ランキング 22位 (2016.1.1現在)

- トレーニング 中国 長春
- コーチ Guiyu Huang
- 主な実績
 - 世界選手権 19位 (2015)
 - 四大洲選手権 7位 (2015)
 - 中国選手権 優勝 (2015)

●選手選考方法

＜ISU世界ランキングによる選考（男女シングル2名ずつ、ペア2組、アイスダンス2組）＞

2016年1月1日時点のISU世界ランキング（ISU World Standings）に基づき、男女シングルは各大陸上位2名が、ペアとアイスダンスは2組が自動的に当該大会への出場権利を付与される。

上位2名の出身が同じ国の場合、2位選手は次点の別国から選出される。

上位選手が出場できない場合、次点の選手が繰り上げ選出される。

＜ファン投票による選考（男女シングル各1名）＞

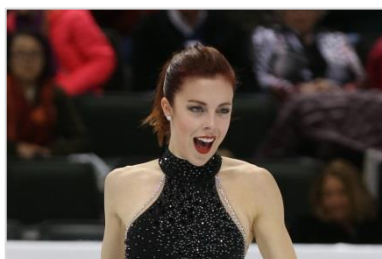
3月28日～4月3日にボストンで開催される世界選手権に出場する選手の中から、各大陸とも男女最大5名ずつを候補として選出し、ファン投票による最多得票獲得選手に出場権利を付与する。

■ファン投票 ノミネート選手（TEAM NORTH AMERICA）

TEAM NORTH AMERICA



【女子シングル】



アシュリー・ワグナー
(アメリカ)
Ashley Wagner
(USA)

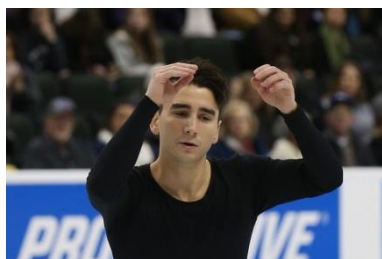


ポリーナ・エドムズ
(アメリカ)
Polina Edmonds
(USA)

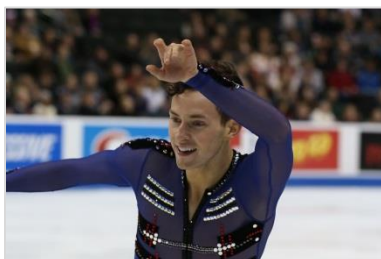


アレーヌ・シャルトラン
(カナダ)
Alaine Chartrand
(CAN)

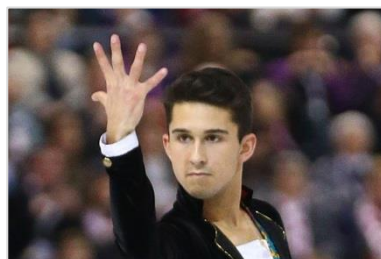
【男子シングル】



マックス・アーロン
(アメリカ)
Max Aaron
(USA)



アダム・リップン
(アメリカ)
Adam Rippon
(USA)



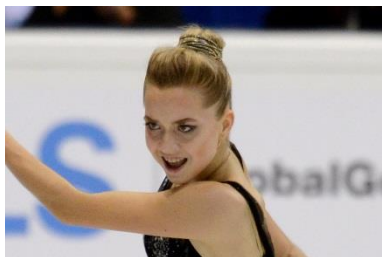
リアム・フィルス
(カナダ)
Liam Firus
(CAN)

■ファン投票 ノミネート選手 (TEAM EUROPE)

TEAM EUROPE



【女子シングル】



エレナ・ラジオノワ
(ロシア)
Elena Radionova
(RUS)

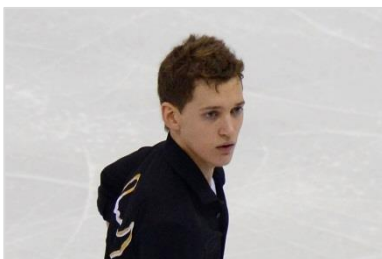


アングリーナ・クチヴァルスカ
(ラトビア)
Angelina Kuchvalska
(LAT)



エフゲニア・メドベージェワ
(ロシア)
Evgenia Medvedeva
(RUS)

【男子シングル】



マキシム・コフトウン
(ロシア)
Maxim Kovtun
(RUS)



アレクセイ・バイチェンコ
(イスラエル)
Alexei Bychenko
(ISR)



ミハイル・コリヤダ
(ロシア)
Mikhail Kolyada
(RUS)

■ファン投票 ノミネート選手 (TEAM ASIA)

TEAM ASIA



【女子シングル】



本郷 理華
(日 本)
Rika Hongo
(JPN)



ズージュン・リー
(中 国)
Zijun Li
(CHN)



ソヨン・パク
(韓 国)
So Youn Park
(KOR)

【男子シングル】



ハン・ヤン
(中 国)
Han Yan
(CHN)



ミーシャ・ジー
(ウズベキスタン)
Misha Ge
(UZB)



ボウヤン・ジン
(中 国)
Boyang Jin
(CHN)

● ファン投票の方法

①大会公式ホームページ (<http://jp.teamchallengecup.com>) より「ファン投票特設ページ」にアクセス

②ノミネート選手から好きな選手を選んで、選手写真をクリックして投票

◆投票期間◆

2016年3月9日（水）15:30～4月5日（火）7:00まで ※日本時間

◆結果発表◆

4月上旬～中旬に大会公式ホームページにて発表予定

●コーセー スポーツ振興への取り組みについて

コーセーは、美を提供する企業として、健康的な美しさのための大事な要素であるスポーツシーンに着目し、スポーツをするときでも美しくありたいと願う女性たちを、化粧品を通じて応援するとともに、芸術性の高いスポーツを中心に、その振興に取り組んできました。

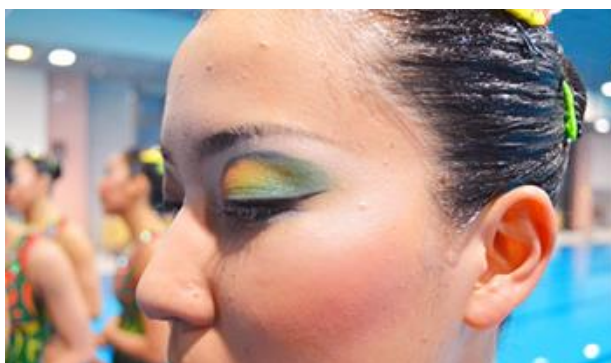
2006年には、日本スケート連盟とオフィシャルパートナー契約を結び、以来、選手の使用する衣装・楽曲と選手の個性を生かすメイクの提案や、エキシビションでのメイクアップアーティストの派遣を積極的に行い、選手のサポートを約10年続けています。

他にも、シンクロナイズドスイミング日本代表のメイクアップ指導など、「美しくがんばる女性たち」を、スポーツ振興を通じて支援し続けてまいります。

最近では、女子プロゴルファーや女性ランナーの応援も開始し、お洒落やメイクを楽しみながらプレーできるスポーツにも積極的に活動の輪を広げています。



2015年NHK杯に出場した宮原選手へのメイクの様子



シンクロナイズドスイミングのメイク

●コーセー スポーツ専用化粧品開発について

「スポーツするときも美しく」というコンセプトのもと、1981年に業界初のスポーツ専用化粧品ブランド『スポーツビューティ®』を発売しました。撥水性素材などの技術を、汗や水への強さ、紫外線カットなどスポーツ用化粧品として必要な機能として活かし、以来、スポーツに適した機能性化粧品を発売してきました。

そして、昨今、「スポーツ」が美と健康を維持する要素のひとつとして注目され、国内スポーツ市場が活性化しているという市場背景を受け、今までの『スポーツビューティ®』を「耐汗性」、「耐動性」を追求した「絶対焼かない」高機能日やけ止めブランドとして2016年3月16日より発売いたします。



2016年3月16日発売
『スポーツビューティ®』日やけ止め

商品詳細について：『スポーツビューティ®』ニュースリリース（1/14）

URL：<http://news.kose.co.jp/pdf/news/2016011403.pdf>

コーセーのフィギュアスケートをはじめとするスポーツ振興への取り組みに関連する情報は「コーセースポーツビューティニュース」サイト（常設）でご覧になれます。

URL：http://www.kose.co.jp/jp/ja/kose_sports/index.html

●大会に関するお問い合わせ先

大会に関する情報、ご取材等についてはアメリカスケート連盟までお問い合わせください。

◆アメリカスケート連盟 (USFSA)

20 First Street – Colorado Springs, CO 80906

Phone : 719.635.5200

Fax : 719.635.9548

Website : www.usfigureskating.org

◆メディアお問い合わせ先

Media contact : Renee Felton, Media Relations Manager

Phone : 719.228.3417

Mobile : 303.717.7749

E-mail : rfelton@usfigureskating.org

●協賛に関する問い合わせ先

協賛に関するお問い合わせは、以下にお問い合わせください。

◆株式会社コーセー 広報室

TEL : 03-3273-1514 (直通)